

令和 7年 6月27日
東日本高速道路株式会社
横浜工事事務所

「第7回 横浜環状南線 庄戸トンネル施工技術検討会」を開催

NEXCO東日本横浜工事事務所（横浜市神奈川区、所長：松本 育之）は、令和7年6月18日、「第7回 横浜環状南線 庄戸トンネル施工技術検討会」を開催し、横浜環状南線庄戸トンネルの施工状況の確認を行いました。

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の一部を構成する横浜環状南線（釜利谷JCT～戸塚IC間、延長8.9km）は、全線の約7割が地下構造（トンネル又は掘割）で計画されています。

庄戸トンネル施工技術検討会（平成24年～）では、庄戸トンネルの実施工に向けた施工方法及び環境に与える影響・対策等について検討を行ってきました。

第7回検討会では、第6回に引き続き施工状況の確認及び盛土部掘削区間の地下水位変動抑制対策の必要性を確認しました。

【第7回検討会の概要】

◇開催日時 令和 7年 6月 18日（水）14：00～16：00

◇議事要旨・資料 別紙のとおり

※議事要旨・会議・資料はウェブサイトに掲載します。

(<https://www.yokokan-minami.com/site/>)

【第7回検討会】

◇開催日時 令和 7年 6月 18日（水）14：00～16：00

◇開催場所 横浜工事事務所 会議室

◇議 題

- ・施工状況
- ・盛土部掘削区間の地下水位変動抑制対策の必要性

横浜環状南線庄戸トンネル施工技術検討会
委員名簿

（敬称略、順不同）

委員長 真下 英人 一般社団法人 日本建設機械施工協会
施工技術総合研究所 所長

委 員 今田 徹 東京都立大学 名誉教授

委 員 西垣 誠 岡山大学 名誉教授

委 員 砂金 伸治 東京都公立大学法人 東京都立大学
都市環境学部 都市基盤環境学科 教授

委 員 日下 敦 国立研究開発法人 土木研究所 つくば中央研究所
道路技術研究グループ トンネルチーム上席研究員

委 員 小林 康範 (株) 高速道路総合技術研究所
道路研究部 トンネル研究担当部長

委 員 大津 敏郎 東日本高速道路 (株)
技術本部 総合技術センター センター長